

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人カトリック児童福祉会
金ヶ瀬カトリック保育園

金ヶ瀬カトリック保育園事業報告

キリスト教の愛の精神に基づき、心身の育成を図ることを大切にしながら、厚生労働省の定める保育指針により実施する。

十分に行き届いた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持並びに情緒の安定を図る。

定員 60 名 現員 71 名（令和8年3月31日現在）（延べ人数 848 名）

開園時間 7 時 15 分 閉園時間 18 時 45 分

就学時前迄の子ども達が、11 時間以上も生活する場であることから、家庭的な雰囲気の中でゆったり・楽しく・安心して過ごせる様に、クラスは0. 1. 2 歳児、3. 4. 5 歳児の縦割り編成にすると共に、担任もゆとりを持った複数担任制を取り入れています。又、職員の構成も保護者が安心して預けられるように、ベテラン保育士・子育て経験者・介護経験者等を多く配置しております。

今年は0 歳児 6 名（5 ヶ月児～）1・2 歳児 5 名 3 歳児 4 名の新入児を受け入れました。

保育は今年度も縦割り活動・同年齢活動の中で掃除や奉仕活動・菜園活動・陶芸・お作法・クラブ活動をしたり、七草や団子差しなどの日本古来の伝統活動も多く取り入れながら、あそびの中に創造性やものに感じる心、感謝の心が育ってほしいと願って保育を行いました。少しずつ地域の方との交流事業も再開し、地域の民生委員の方々をお呼びしての行事も行いました。心の育ちの面では「あいさつ・ありがとう・あやまりあう・あたえあう」の4つの「あ」の心を持ち、優しい心と感謝の心を持ちましょうと職員も子どももみんなで大切にしました。特に6月・12月・3月は祈りの月として心をつなげて平和と安全を祈りました。特に戦争のない社会の実現は、現在世界各地で行われている沢山の戦争や争いが、一日も早く終わりを迎え平和が訪れることを願ってお祈りを続けています。

○今年度も自然の恵みの中で伸び伸びと遊ぶ事を多く取り入れた保育を意識して砂遊びや草原・園外散策等を沢山行いました。近隣でもくまの形跡があったことから、散歩等は山の方面には行かないルートで実施しました。夕涼み会（こどもまつり）やクリスマス会などの行事は、今年も保護者のみの参加で行いました。運動会は外での行事という事で、祖父母も参加を認め沢山の声援をして頂きました。又、今年も一円玉募金やクリスマス献金をカリタスジャパンや大河原町社会福祉協議会に送金しました。古切手やはがき募金も通年を通して行い関係施設に送っています。

○年長児の小学校招待は、今年も行われ学校生活の様子や教室の雰囲気を味わい1年生との交流を深めました。又、児童クラブとの交流は年間を通して数多く持ち、学校生活への期待が膨らむ体験を通して1年生になることへの不安を払拭できるよう配慮しました。園内に児童クラブがある事は子どもたちにとって良い環境だと思います。未満児の子ども達も手をつないでもらったり、乗り物を押してもらったり等優しく接してもらい様々な世代の人との交流に繋がり、良い影響を与えてもらっていると思っています。

○健康面では毎日外に出て体を沢山動かしてあそぶ体験や、散歩やウォーキングで歩く体験を多く取り入れました。裸足保育や薄着保育も取り入れ健康に過ごせる様に保護者への啓蒙なども積極的に行っております。様々な感染症が年間を通して流行しましたが、その都度感染状況を保護者にお伝えし感染拡大防止に努めることができました。

令和8年4月1日

金ヶ瀬カトリック保育園